硫酸サルブタモール錠
Salbutamol Sulfate Tablets

溶出試験　本品1個をとり，試験液に水900mLを用い，溶出試験法第2法により，毎分50回転で試験を行う．溶出試験を開始し，規定時間後，溶出液20mL以上をとり，孔径0.45μm以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液10mLを除き，次のろ液VmLを正確に量り，表示量に従い1mL中にサルブタモール($C_{13}H_{21}NO_3$)約2.2μgを含む液となるように水を加えて正確にV'mLとし，試料溶液とする．別に硫酸サルブタモール標準品を100℃で3時間減圧(0.67kPa以下)乾燥し，その約0.027gを精密に量り，水に溶かし，正確に100mLとする．この液2mLを正確に量り，水を加えて正確に200mLとし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液100μLずつを正確にとり，次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い，それぞれの液のサルブタモールのピーク面積A_T及びA_Sを測定する．

本品が溶出規格を満たすときは適合とする．

サルブタモール($C_{13}H_{21}NO_3$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 9 \times 0.830$$

W_S：硫酸サルブタモール標準品の量(mg)

C　：1錠中のサルブタモール($C_{13}H_{21}NO_3$)の表示量(mg)

試験条件

検出器：紫外吸光光度計(測定波長：276nm)

カラム：内径4.6mm，長さ15cmのステンレス管に5μmの液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする．

カラム温度：40℃付近の一定温度

移動相：酢酸アンモニウム溶液(154→10000)に酢酸(100)を加えてpH5.0に調整した液1000mLにアセトニトリル100mLを加える．

流量：サルブタモールの保持時間が約3分になるように調整する．

システム適合性

システムの性能：標準溶液100μLにつき，上記の条件で操作するとき，サルブタモールのピークの理論段数及びシンメトリー係数は，それぞれ2500段以上，2.0以下である．

システムの再現性：標準溶液100μLにつき，上記の条件で試験を6回繰り返すとき，サルブタモールのピーク面積の相対標準偏差は1.5%以下である．

溶出規格

表示量*	規定時間	溶出率
2mg	15 分	85%以上

*サルブタモールとして

硫酸サルブタモール標準品　硫酸サルブタモール(日局)．ただし，乾燥したものを定量するとき，硫酸サルブタモール[$(C_{13}H_{21}NO_3)_2 \cdot H_2SO_4$]99.0%以上を含むもの．

硫酸サルブタモールドライシロップ
Salbutamol Sulfate Dry Syrup

溶出試験 本品の表示量に従いサルブタモール($C_{13}H_{21}NO_3$)約 2mg に対応する量を精密に量り，試験液に水 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験を開始し，規定時間後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45μm 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液を試料溶液とする．別に硫酸サルブタモール標準品を 100℃で 3 時間減圧(0.67kPa 以下)乾燥し，その約 0.027g を精密に量り，水に溶かし，正確に 100mL とする．この液 2mL を正確に量り，水を加えて正確に 200mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液 100μL ずつを正確にとり，次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い，それぞれの液のサルブタモールのピーク面積 A_T 及び A_S を測定する．

本品が溶出規格を満たすときは適合とする．

サルブタモール($C_{13}H_{21}NO_3$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 9 \times 0.830$$

W_S：硫酸サルブタモール標準品の量(mg)

W_T：硫酸サルブタモールドライシロップの秤取量(g)

C ：1g 中のサルブタモール($C_{13}H_{21}NO_3$)の表示量(mg)

試験条件

検出器：紫外吸光光度計(測定波長：276nm)

カラム：内径 4.6mm，長さ 15cm のステンレス管に 5μm の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする．

カラム温度：40℃付近の一定温度

移動相：酢酸アンモニウム溶液(154→10000)に酢酸(100)を加えて pH5.0 に調整した液 1000mL にアセトニトリル 100mL を加える．

流量：サルブタモールの保持時間が約 3 分になるように調整する．

システム適合性

システムの性能：標準溶液 100μL につき，上記の条件で操作するとき，サルブタモールのピークの理論段数及びシンメトリー係数は，それぞれ 2500 段以上，2.0 以下である．

システムの再現性：標準溶液 100μL につき，上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき，サルブタモールのピーク面積の相対標準偏差は 1.5%以下である．

溶出規格

表示量*	規定時間	溶出率
2mg/g	15 分	85%以上
2.4mg/g	15 分	85%以上

*サルブタモールとして

硫酸サルブタモール標準品　硫酸サルブタモール(日局). ただし，乾燥したものを定量するとき，硫酸サルブタモール[$(C_{13}H_{21}NO_3)_2 \cdot H_2SO_4$]99.0%以上を含むもの.